

事業所名		コンパス札幌東区教室		公表日			令和8年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2.47平方メートル以上という設備基準を遵守したスペースを確保しています。訓練室や静養室など、目的に応じて複数の部屋を使用するなど工夫しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		ご利用者の方10人に対し、児童指導員2人という人員配置基準以上の人員配置を常に行い、専門性を備えた職員を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		手摺の設置や玄関・トイレ・訓練室のドアを引き戸にする等の配慮を行っています。来所してからの流れがわかりやすいように動線を設定し、部屋ごとにプレートを設置しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝職員で清掃・消毒を行い、清潔かつ心地よく過ごせる環境を提供しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		訓練室や静養室など、目的に応じて複数の部屋を使用するなど工夫しています。相談事などがあれば、応接室を使用するなどプライバシーにも配慮しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心がけ、ミーティング時に職員全員で振り返り、改善策などを話し合っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の他にも送迎時、LINE、電話、面談など日頃から意向などを受け付けて対応しております。不満が述べられた点については職員間で協議し改善するよう努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1日2回ミーティングを実施し、常に意見を言いやすいように風通しの良い職場づくりを目指しています。また、改善できる内容の場合は職員全員で話し合ったうえで改善しています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は保護者の方と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討していきます。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1度内部研修を行っています。本人が希望をすれば外部研修にも参加できる仕組みになっている。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、HPに掲載しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、保護者様やご利用者様との面談や職員間での検討を通して、個別ニーズに合わせた計画を提案しております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保護者様に説明後に職員間で共有しています。また、計画に沿った支援を行えるようにカリキュラムごとに個別に目標を設定しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所内で定められた書式にてアセスメントを行っています。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインや五領域の内容を踏まえながら個別支援計画を作成しています。また、指導員と情報交換を行いながら具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムの立案や企画に関しては職員全員で固定化しないように立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		また、同じカリキュラムかつマンネリ化したものは行わず、人気のあるものや療育として質の高いカリキュラムを選んで実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		事業所の特性上個別活動は少ないが、集団活動の中で個別に対応する時間を作るなどして対応している。また、受験生などの対応は臨機応変に個別対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前後には必ずミーティングを開催し、記録書面と口頭でご利用者の状況や支援内容を共有し、前日休みの職員も含め細やかな引継ぎができるようになっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をもとに定期的に職員間でケース会議を行い、支援の検証・改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも6ヶ月に一度モニタリングを実施しています。モニタリングの結果、計画の見直しが必要となった場合には適宜計画を更新しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインを全職員に周知し、活動プログラムを組み立てる際の参考にしています。各プログラムに参加していただければ網羅できるような仕組みになっています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		カリキュラムの中で自己選択できる場面を設け、自己決定する力を身に付けられるように支援しています。また、利用したい日をご利用者様本人に選んでもらう仕組みを導入しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者兼児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療機関や学校との連携を行っている。不登校のご利用者様が本事業所を利用することで登校扱いになる取り組みもやっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	○	学校への送迎を行っていないため、下校時刻などの確認は行っていません。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	在籍しているご利用者の方が小学校高学年～高校生となっているため、幼保との連携については該当していません。以前利用していた放課後等デイサービスとは情報共有することがあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者様や今後利用する事業所の担当者様から依頼があれば情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターと連携は取れています。年に1回開催されている研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	障がい告知していないご利用者の方もいるため、地域の他の子どもとの関わりは実施しておりませんが、秋祭りを通して地域の子供や他の事業所の方と交流する場を設けています。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		開催される場合は積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		事業所での活動の様子や今後の課題について、口頭でお伝えするよう心がけていますが、保護者の方の都合でLINEや電話にてお伝えする場面もあります。保護者の方との対話を通して相互理解が促進されるよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度は保護者様が参加できる研修を開催できていないため、次年度に開催できるように企画しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。ご不明な点などのお問い合わせがあった際は書面や口頭で説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画書を作成する前に必ず保護者の意向の聞き取りを行っています。現在はご利用者様の意向を確認できていないため、今後はご利用者様本人の意向を聞き取りできるように検討していきます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援管理責任者が説明を行い、同意を得ています。直接お会いできない場合は、個別支援計画書をお渡しし、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別面談を行い、困りごとや悩みを共有し、解決できるような相談・支援体制を作っています。主に来所により行っておりますが、LINE・電話・ZOOMでも対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会はありませんが、保護者の方も参加できる行事(BBQや秋祭りなど)を開催しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付、解決へ向けた流れについて、「重要事項説明書」に記載し、契約時に説明しています。苦情があった場合はマニュアルに沿って迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回、月間カリキュラムやコンパス通信を発行しています。またHPのブログやInstagramにて情報を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に保護者様からいただいている個人情報使用に関する同意書の中で「厳守事項」を明記し、これを行動規範としています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用者様の状態に合わせて、情報伝達方法を変えるなど可能な限り配慮をしています。保護者様へは面談の他、電話やLINE、ZOOMでの相談を実施しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		9月に秋祭りを開催した際に地域の方を招待しております。また、カリキュラムとして地域のゴミ拾いなども実施しています。	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し職員に周知しています。保護者様向けにHPにも掲載されています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎年度、避難訓練を最低でも2回実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者様に聞き取りをして把握しています。また、毎年4月に調査票を配布し記入してもらっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	アレルギーの有無については、保護者様に聞き取りをして把握しています。今後は必要に応じて医師の診断書などを依頼していきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に記載している研修(避難訓練や感染症発生時の対応訓練など)を計画通りに実施しています。	

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定し、保護者様向けにHPに掲載しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例集・報告書を作成し、職員への周知・注意喚起に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、研修を実施しています。 また外部研修にも意欲的に参加し、社内で情報共有しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う時には条件を決め、保護者の方に説明し了解を得るような仕組みを設けています。 現在は対象のご利用者様がないため個別支援計画に反映していませんが、今後は必要に応じて記載していきます。	